

[治療院]

鍼通電療法
はりつうでん



鍼灸整骨 治療院
ふれあい

はり師きゅう師
渡邊 亮一 さん

鍼施術には、鍼を体に刺入して、鍼を電極として通電する鍼通電療法があります。鍼の種類は、金鍼、銀鍼などありますが、一度で使い捨てるステンレスのディスプレイ鍼が多いです。太さは0.15mmから0.25mm位、長さは、3cmから6cm位で、その人の体格や目的の深さによって太さや長さを調節します。

鍼通電療法は5つの対象と目的に分類されています。①筋肉パルス／骨格筋への筋内循環改善。②神経パルス／末梢神経への神経機能調節。③椎間関節部パルス／脊柱の椎間関節部周囲への循環改善。④皮下パルス／皮下組織への循環改善。⑤反応点パルス／反応点を介して、自律神経を調節する作用があります。

体の神経細胞膜の外側には、ナトリウム陽イオンと塩素陰イオンが多いのに対し、細胞内には、カリウム陽イオンとタンパク質陰イオンが多量に存在します。脳内からの指令や体外からの刺激により、ナトリウム陽イオンの膜透過性が急速に増加し、細胞内に流入する事を活動電位インパルスとも呼び、電気信号を運動神経に伝え、筋肉が動く事に繋がっていきます。

鍼通電療法で、鍼を電極として目的の筋肉に刺入した時にも、活動電位が発生し、自動的に筋肉が収縮弛緩し、持続的に繰り返すことで、静脈血を心臓に押し戻す筋肉ポンプ作用を助けます。これが、心地良い刺激となり、血行を改善したり、しこりをほぐしたり、痛みを和らげます。

時間や周波数、波形を変化させる事もできます。通電時間は10分から20分位、周波数は1ヘルツから10ヘルツ位の低い低周波数が適しているとされています。波形は、凝り痛みには連続波、麻痺しびれには断続波、痛み麻痺には疎密波が良いとされています。

鍼治療は症状の改善や健康増進にも役立ちますので、一度受けてみてはいかがでしょうか。



鍼灸整骨 治療院
ふれあい

七飯町本町4-11-15
☎0138-65-6004

■受付時間／8:45～17:45
■定休日／土、日曜・祝日
■訪問範囲／七飯町、北斗市、
旧函館市

